

論文を探す方法の一例

■CiNii という論文検索サイトが便利

立命の rainbow-ID で利用が可能（本来有料なので学内からでないと思われたいと思います）興味のあるキーワードで検索するのが基本だが、学問を問わず検索されるので関係のないものをヒットしやすい。（それが面白く発想を広げる事もあります）



The screenshot shows the CiNii search interface. At the top, there are three tabs: '論文検索' (Article Search), '著者検索' (Author Search), and '全文検索' (Full-text Search). Below the tabs is a search bar with the placeholder text 'フリーワード' and a '検索' (Search) button. Underneath the search bar are three filter buttons: 'すべて' (All), 'CiNiiに本文あり' (Full text available in CiNii), and 'CiNiiに本文あり・連携サービスへのリンクあり' (Full text available in CiNii and link to linked service). To the right of these buttons is a '閉じる' (Close) button. Below the filters are several input fields: 'タイトル' (Title), '著者名' (Author Name), '著者ID' (Author ID), '著者所属' (Author Affiliation), '刊行物名' (Journal Name), 'ISSN' (ISSN), '巻号ページ' (Volume/Issue/Page) with sub-fields for '巻' (Volume), '号' (Issue), and 'ページ' (Page), '出版者' (Publisher), '参考文献' (Reference), and '出版年' (Publication Year) with sub-fields for '年から' (From) and '年まで' (To).

詳細検索で出版社を指定すると建築都市に関わる物が見つかりやすい

例：日本建築学会 都市計画学会

さらに絞りたい場合は刊行物名を指定する。

例：日本建築学会計画系論文集 日本建築学会技術報告集 都市計画論文集

日本建築学会の論文の位置付け

- ・日本建築学会計画系論文集

「論文として」確かな研究が数多く掲載されている。

論文の書き方、分析方法等について参考になる。

- ・日本建築学会技術報告集

新しい技術と事実の報告に関する研究が掲載されている。

考察・論述しているかと問われると疑問符が付く物もあるが、参考になる

- ・大会梗概集

「論文として」は疑問符の付く物もあるが、それは梗概集という事情から。

新しい研究や、論文にはならなくても実用的な研究、単純に興味深い研究等が見つかる事もある。

■CiNii でも見れますが、図書館・研究主で上記の論文集を探し、直接見た方が早い場合もあります。

非常にたくさん置かれているので、タイトル一覧を見て興味を持てる論文を見つける等。

論文集は研建築情報・認知研究室にもあります。

■一つ興味のある論文が見つかったら

論文中に最後に引用文献・参考文献が書いてあります。そこから次を探してみましょう。

また、著者の名前を探すのも有効です。

いまいちピンと来ない。。。と言う人は相談してください。